１　総　括

１－１　沿　革

平成５年～	木材関係試験研究調査開始
平成８年	木材試験研究に関する基本構想策定
平成９年	木材試験研究体制整備基本計画策定
平成１０～１１年	基本設計・実施設計
平成１１～１２年	建設工事
平成１３年４月	組織発足　初代所長大熊幹章　副所長川村博幸就任
平成１３年８月	開所式
平成１３年８月	スギシンポジウム 2001 開催
平成１３年１１月	木材加工技術懇談会をセンターで開催
平成１４年２月	外部評価委員会開催　委員長北原宮崎大学教授就任
平成１４年３月	木材加工技術懇談会を日向市にて開催

平成１４年　４月　１日	乾燥材生産指導員配置
平成１４年　５月　１日	客員研究員制度導入
平成１４年　７月１０日	皇太子同妃両殿下御視察
平成１４年１０月　８日	外部評価委員会開催
平成１４年１０月２４日	木材加工技術懇談会を日南市で開催
平成１５年　３月１０日	スギシンポジウム 2003 開催
平成１５年　３月１８日	木材加工技術懇談会をセンターで開催
平成１５年　３月１８日	研究成果報告会をセンターで開催

１－２　業務の概要

当センターは、スギを中心とする県産材の効率的活用、需用拡大を図るため、木材関連産業の技術の向上及び新製品の開発支援、新構法の開発等に取り組むこととしている。研究開発は企画管理課、材料開発部、木材加工部、 構法開発部の１課３部体制で推進している。

企画管理課では木材情報の収集、提供の他、ＩＴによる木材流通のシステムづくりに関する研究を進めている。

材料開発部では、県産スギ材の材質的特性の解明、有用成分の効果的抽出・用途開発及び防腐・耐候性の研究開発等を担当している。

木材加工部では、木材の高度乾燥技術開発、集成材・LVL・ボードなどの高次加工技術開発及び低質木材資源の有効利用の技術開発等を行っている。

構法開発部では、建築分野への利用拡大を図る新部材・新構法の開発及び低コスト建築システムの技術開発等を行っている。

業務の内容は、外部からの依頼試験、技術相談（指導）、共同研究（開発）のほか独自の研究課題を設定し、研究開発に取り組んでいる。

１－３　組　織

１－３－１　事 務 分 掌

所　長
副所長

企画管理課

1　庶務一般
2　センターの総合運営
3　県有財産及び機械器具の管理
4　センター内の連絡調整
5　試験研究資料の収集及び整理
6　広報及び木材利用の技術相談
7　試験研究の総合的企画調整及び評価
8　木材流通に関する研究

材料開発部

1　木材の材質に関する試験研究及び指導
2　木材の抽出成分を主とする化学的物質に関する試験研究及び指導
3　木材の耐久性に関する試験研究及び指導

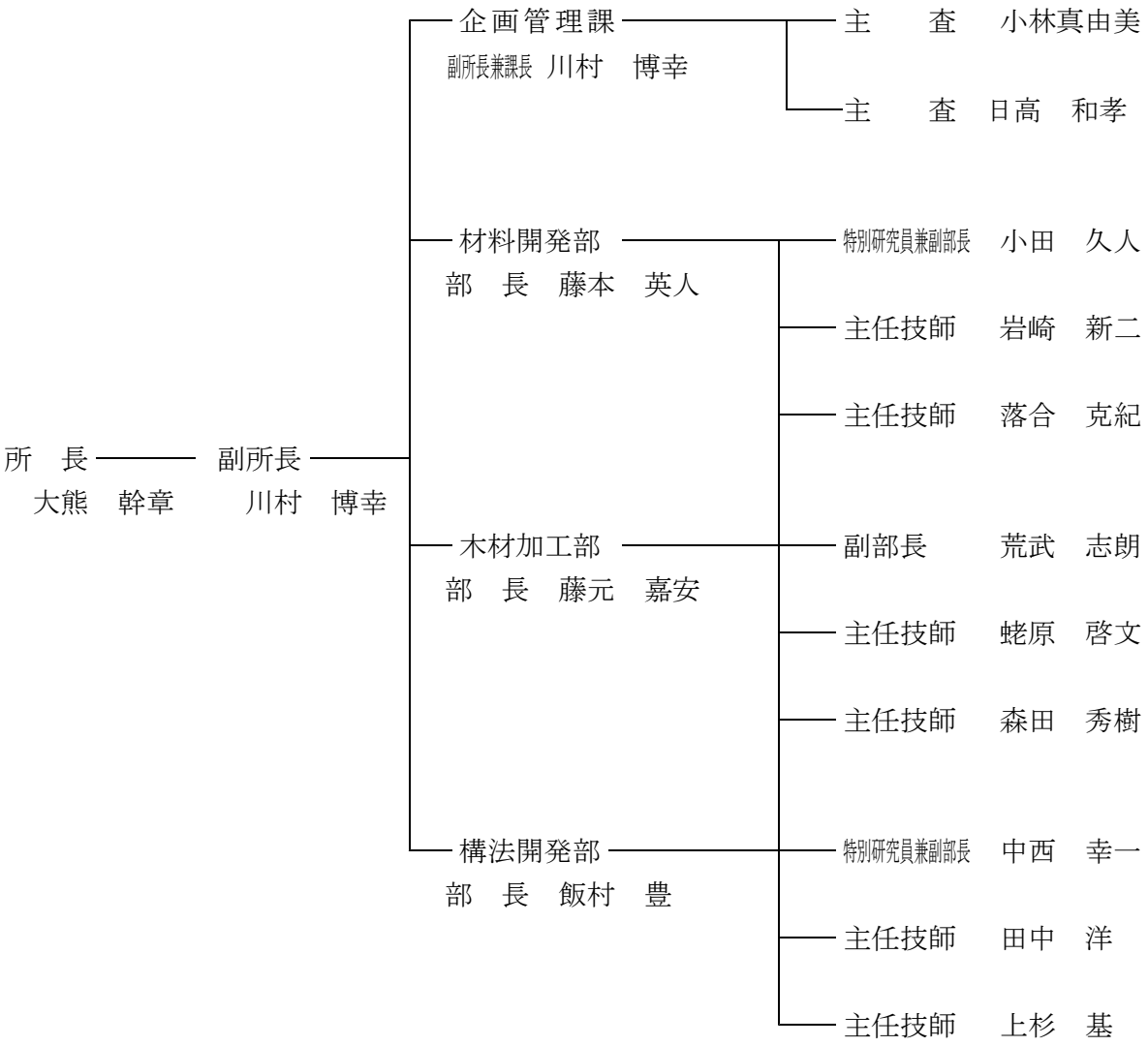
木材加工部

1　木材の高度乾燥技術に関する試験研究及び指導
2　木材の高次加工部材の開発に関する試験研究及び指導
3　低質木材資源の有効利用に関する試験研究及び指導

構法開発部

1　木造建築物の新構法の開発に関する試験研究及び指導
2　木造建築物の耐震性、居住性、耐久性等に関する試験研究及び指導
3　木造建築物の低コスト建築システムの開発に関する試験研究及び指導

１－３－２　職員配置表



１－３－３　職員現況表（平成１５年３月３１日現在）

（単位：人）

区　　分	職　　員			臨時職現業職等	備　　考
	事 務	技 術	計		
企 画 管 理 課	2	2	4	4	所長、副所長, 林業協会を含む
材 料 開 発 部		4	4	8	臨時職は最大雇用時を計上
木 材 加 工 部		4	4		
構 法 開 発 部		4	4		
計	2	14	16	12	

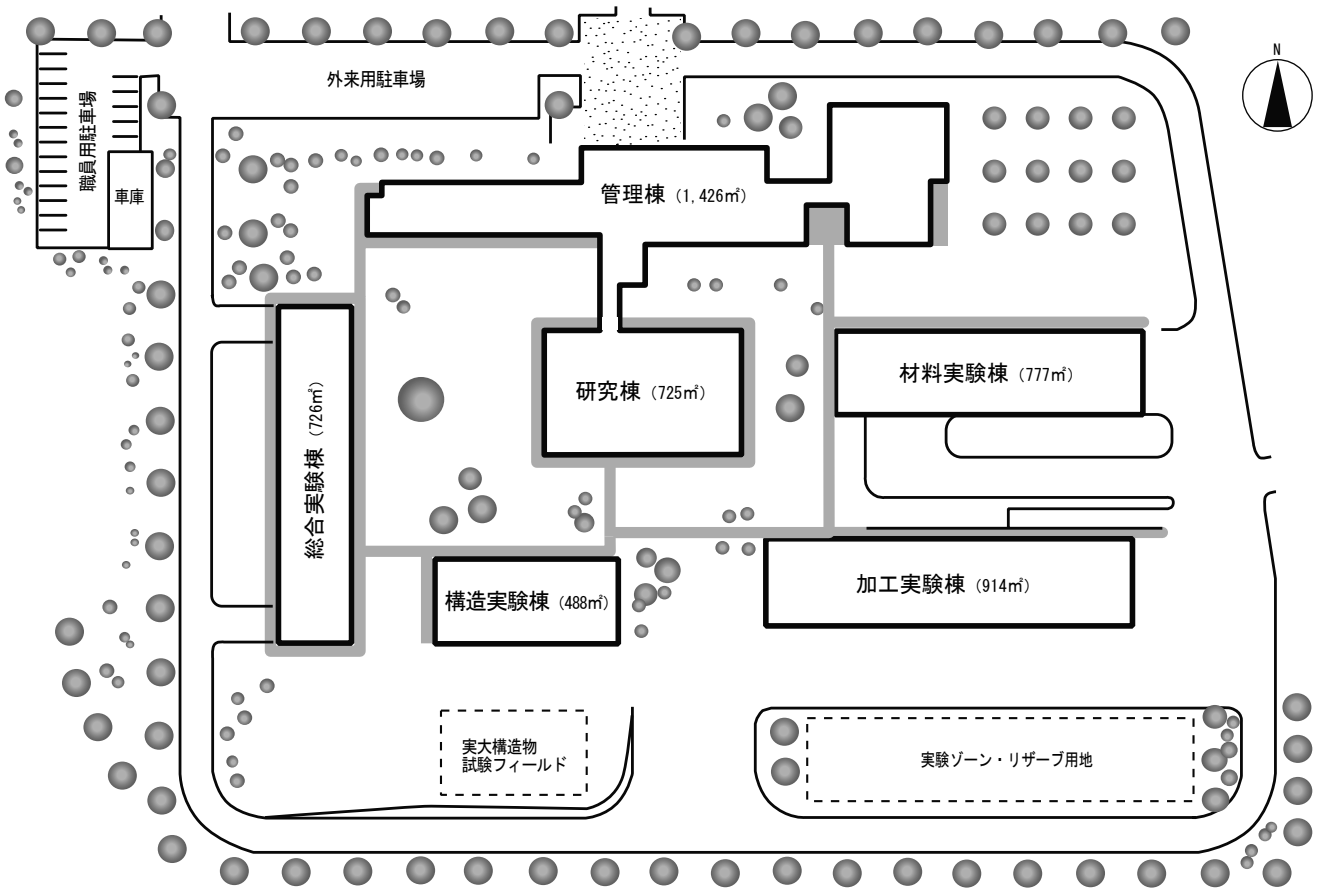
１－４　規 模

１－４－１ 土地・建物

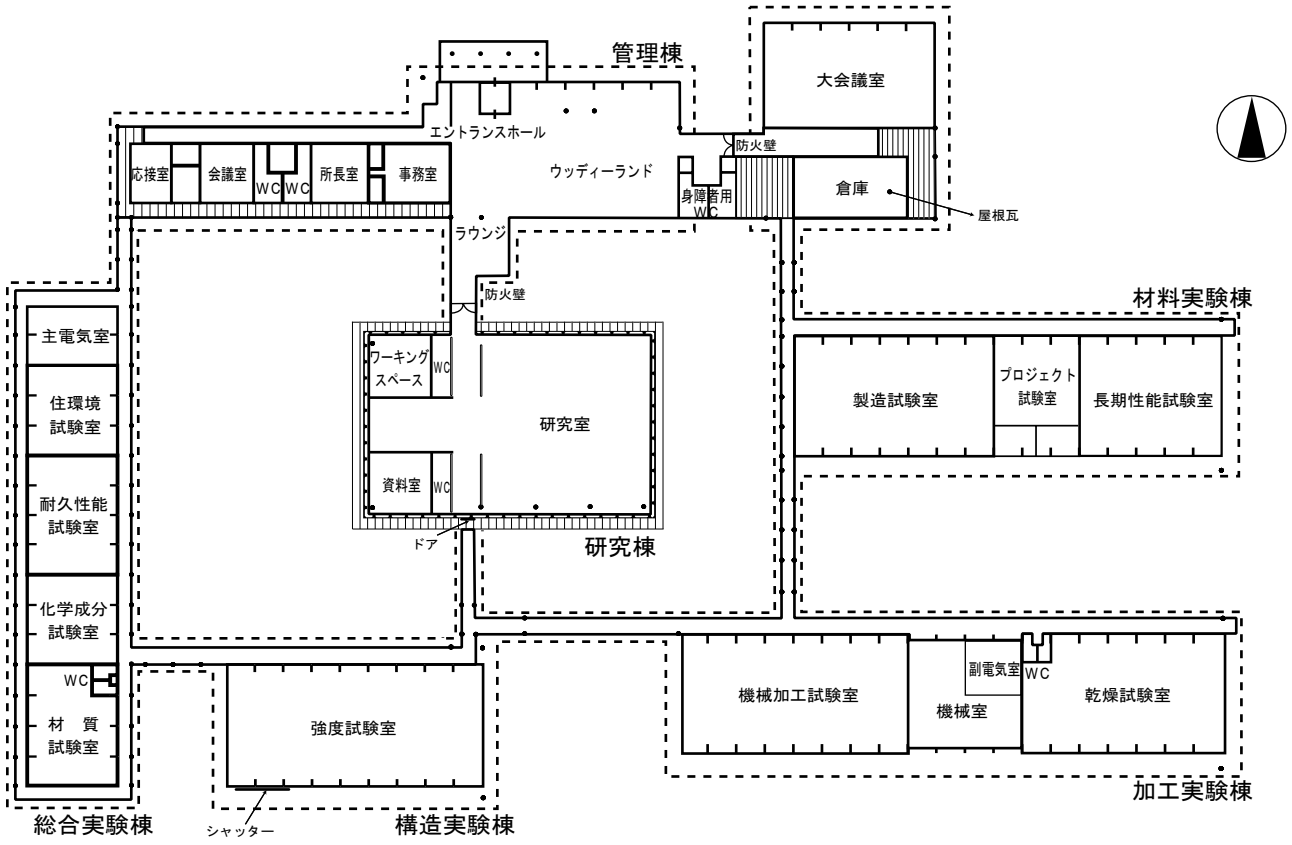
- 所　在　地　〒885-0037　都城市花繰町２１号２番　☎ 0986-46-6041
- 土地面積　　32,122.19 ㎡［9,716.92 坪］
- 建物延面積　5,147.98 ㎡［1,557.26 坪］

区　　分	構　造	主 要 諸 室	面　　積	架構の特徴
管　理　棟	木 造 平 屋	エントランス 展　示　室 大・小会議室 所　長　室 事　務　室 来　賓　室 書　　庫	1,426.46 ㎡	スギ構造用集成材 ボックス梁を用いた 大空間の木造架構
研　究　棟		研　究　室 打 合 せ 室 資　料　室	724.71 ㎡	スギ構造用集成材立体 トラスを用いたフレ シキブルな空間
総合実験棟		材質試験室 化学試験室 耐久性能試験室 住環境試験室 主電気室	725.74 ㎡	スギ構造用集成材 トラス組
構造実験棟		強度試験室	482.76 ㎡	スギ構造用集成材と 合板による 折板構造架構
加工実験棟		機械加工試験室 乾燥試験室 副電気室・機械室	913.68 ㎡	構造用集成材変形 トラス組
材料実験棟		製造試験室 長期性能試験室 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ試験室	777.60 ㎡	構造用集成材変形 トラス組
その他		車　庫	97.02 ㎡	
合　　計			5,147.98 ㎡	

● 敷地図


N
外来用駐車場
職員用駐車場
車庫
管理棟（1,426㎡）
総合実験棟（726㎡）
研究棟（725㎡）
材料実験棟（777㎡）
構造実験棟（488㎡）
加工実験棟（914㎡）
実大構造物
試験フィールド
実験ゾーン・リザーブ用地

● 建物配置図


管理棟
大会議室
エントランスホール
防火壁
応接室
会議室
WC
WC
所長室
事務室
ウッディーランド
身障者用
WC
倉庫
屋根瓦
ラウンジ
防火壁
材料実験棟
主電気室
住環境
試験室
耐久性能
試験室
化学成分
試験室
WC
材　質
試験室
ワーキング
スペース
WC
研究室
資料室
WC
ドア
研究棟
製造試験室
プロジェクト
試験室
長期性能試験室
強度試験室
機械加工試験室
副電気室
WC
機械室
乾燥試験室
加工実験棟
総合実験棟
シャッター
構造実験棟

１－５　予　算

1－5－1　歳入予算

収入済額は、次のとおりである。　（単位：円）

科　　目	収　入　額	摘　　要
使用料及び手数料	1,437,610	証紙
公有財産使用料	8,400	
諸　　収　　入	12,112	雇用保険料
合　　計	1,458,122	

1－5－2　外部資金等受入調

(1) 日本住宅木材技術センター　（単位：円）

種　　類	事　業　名	金　　額	摘　　要
受託事業	長期耐用住宅木材利用技術高度化事業	2,200,000	委託費
合　　計		2,200,000	

1－5－3　歳出関係

予算執行額は次のとおりである。　（単位：円）

科　　目	センター執行分	本課執行分	計
報　　酬	8,434,640	0	8,434,640
給　　料	0	70,522,500	70,522,500
職員手当等	140,000	41,720,880	41,860,880
共　済　費	1,371,990	13,167,094	14,539,084
賃　　金	8,220,240	0	8,220,240
報　償　費	3,682,700	0	3,682,700
旅　　費	9,058,957	0	9,058,957
需　用　費	48,799,272	0	48,799,272
役　務　費	1,433,583	0	1,433,583
委　託　料	25,842,474	0	25,842,474
使用料及び賃借料	5,178,135	0	5,178,135
工事請負費	0	0	0
備品購入費	2,876,034	0	2,876,034
負担金補助及び交付金	305,500	0	305,500
公　課　費	8,800	0	8,800
合　　計	115,352,325	125,410,474	240,762,799

１－６　各種会議・研究会・講習会

１－６－１　研究機関連絡会議への参加

部	会　　議　　名	期　　日	会　場
企画管理課	九州地区林業試験研究機関・春季場所長会議	5/14,15	日田市
	森林・木質資源利用先端技術推進協議会理事会	5/28	東京
	県立試験研究機関場所長会議	8/29	高原町
	林業試験研究機関総務担当者会議	9/18,19	鹿児島市
	九州地区林業試験研究機関連絡協議会秋期場所長会議	9/25,26	熊本
	日本木材加工技術協会第２０回年次大会	10/4,5	東京都
	日本木材加工技術協会理事会	11/18	東京都
	県立試験研究機関合同交流会	12/3	宮崎市
	全国林業試験研究機関場所長会議総会	2/5	東京都
木材加工部	日本木材学会　公設機関委員会	4/4	岐阜市
	大型プロジェクト事後評価会議	5/22	筑波市
	九州地区林業試験研究機関連絡協議会土木資材開発分科会	6/4,5	センター
	九州地区林業試験研究機関連絡協議会乾燥分科会	7/2,3	県
	九州地区林試協研究担当者会議　木材加工部会	8/29,30	熊本市
	産業技術連　推進会議物質工学部会　装工学分科会	9/26,27	市
	平成 14 年度林業研究開発推進九州ブロック会議	10/16,17	熊本市
	九州地区林業試験研究機関連絡協議会乾燥分科会	11/15	センター
	九州地区林業試験研究機関連絡協議会乾燥分科会	3/11	センター
	日本木材学会　公設機関委員会	3/24	岡市
構法開発部			
材料開発部			

１－６－２　　研究会・講習会への参加

部	会　　議　　名	期　日	会　場
企画管理課	宮崎県木材需給対策協議会	5/15	宮崎市
	熱　林放棄バイオマス再資源化支援事業	6/3	東京都
	秋田県木材高度加工研究所７周年　　シンポジウム	6/6,7	能代市
	早生樹協議会	6/14	東京都
	建築研究所研究評価委員会	7/1	東京都
	宮崎県　林	8/1	日南市
	日本木材学会九州支部大会	8/22,23	大分市
	林産技術講習会	8/26	富山市
	宮崎県科学技術会議シンポジウム	10/18	宮崎市
	国土保全　　制度全国シンポジウム	11/11,12	東京都
	宮崎県森林審議会	11/18	宮崎市
	木材産業技術実用化促進緊急対策事業報告会	11/19	東京都
	木質構造研究会技術発表会	11/21	東京都
	木造建築物の分別解体・再資源化に関する討論会	11/22	東京都
	熱　林放棄バイオマス再資源化支援事業	12/23	東京都
	木質構造研究会	1/29	東京都
	先端技術を活用した農林水産研究高度化事業	2/28	東京都
	木材利用革新的技術開発促進事業成果発表会	3/14	東京都
材料開発部	日本木材学会大会	4/ 2, 4	岐阜市
	木材乾燥研究会	5/22	筑波市
	ウッド　ミカル　研究会	7/19	東京都
	日本木材学会九州支部大会	8/22,23	大分市
	化学加工研究会シンポジウム	9/26,27	都城市
	木材接　研究会	10/31,11/1	東京都
	日本木材学会大会	3/22,24	岡市
木材加工部	日本木材学会大会	4/ 2,3,4	岐阜市
	強度性能研究会	5/22	筑波市
	秋田県立大学木材高度加工研究所　　シンポジウム	6/7	能代市
	日本住宅・木材技術センター事業成果報告会	6/28	東京都
	熊本県林業研究指導所業務発表会	7/25	熊本市
	日本建築学会大会	8/1,2	川市

１－６－２　　研究会・講習会への参加（つづき）

部	会　　議　　名	期　日	会　場
木材加工部	日本木材学会九州支部大会	8/22,23	大分市
	産業技術連　推進会議物質工学部会木質科学分科会	10/3,4	岐阜市
	木材産業技術実用化促進緊急対策事業成果報告会	11/19	東 京 都
	木質構造研究会	11/22	東京都
	第９回宮崎テク　フェア	11/24,25	土 原 町
	H14 年度木材利用革新的技術開発促進事業成果報告会	3/14	東 京 都
	日本木材学会大会	3/22,24	岡市
構法開発部	日本木材学会大会	4/ 2, 4	岐阜市
	日本住宅・木材技術センター事業成果報告会	6/28	東京都
	日本木材学会九州支部大会	8/22,23	大分市
	九州土木橋梁研究会	9/9,10	熊本市
	木材保　研　会	9/12	大分市
	新村所大橋建設技術委員会	10/9	西　　村
	高千穂バイパス木製防護柵建設技術委員会	10/10,11	高千穂町
	木質構造研究会	11/21,22	東京都
	「木造建築工事共通仕様書」改訂委員会	12/9	東京都
	県林業改　指導員研　大会	1/16	宮崎市
	木材を活用した学　施設に関する講習会	1/30	岡市
	木材を活かした川づくり委員会	2/10	都城市
	エコ住宅２１プロジェクト研究成果発表会	2/14	京都
	構造改革特区協議	2/17	宮崎市
	県産材流通ビジョン検討委員会	2/17	宮崎市
	H14 年度木材利用革新的技術開発促進事業成果報告会	3/14	東京都

１－７　委員等の委嘱状況

会　議　等　の　名　称	職　名	氏　名
日本住宅・木材技術センター　長期耐用委員会	委　員　長	大熊幹章
緑化推進センター　放棄バイオマス利用支援委員会	委　員　長	大熊幹章
早生樹協議会	副　会　長	大熊幹章
建築研究所　外部評価委員会材料分科会	委　　員	大熊幹章
森林・林業・木材産業における温暖化防止検討委員会	検討委員	大熊幹章
木材学会	顧　　問	大熊幹章
木材加工技術協会	理　　事	大熊幹章
森林・木質資源利用先端技術推進協議会（APAST）	理　　事	大熊幹章
木質構造研究会	理　　事	大熊幹章
木質材料、木質構造研究基金	運営委員	大熊幹章
富山県木材試験場再編検討会委員会	委　員　長	大熊幹章
日本農学アカデミー	会　　員	大熊幹章
（財）日本農学会	監　　事	大熊幹章
九州地区林業試験研究機関連絡協議会木材加工部会乾燥分科会	会　　長	小田久人
木材産業技術実用化促進緊急対策事業試験調査委員会（木質トレイ）	委　員　長	藤元嘉安
特定中小企業集積活性化計画策定検討委員会	委　　員	藤元嘉安
「スギザウルスＺ」改善検討委員会	指　導　員	藤元嘉安
木材利用革新的技術開発促進事業（湾曲集成材）	外部指導	藤元嘉安
日本木材学会編集委員会	論文審査員	藤元嘉安
日本林学会九州支部編集委員会	論文審査員	藤元嘉安
日向地区都市デザイン会議木材ワーキンググループ	委　　員	荒武志朗
日本木材学会	連絡監事	荒武志朗
日本林学会九州支部編集委員会	論文審査員	荒武志朗
木質構造研究会	編集協力委員	荒武志朗
宮崎型長期耐用住宅木材利用技術高度化事業	委　員　長	飯村　豊
倉岡ニュータウン集会施設設計協議審査会	委　員　長	飯村　豊
長期耐用住宅木材利用技術高度化事業委員会	委　　員	飯村　豊
新村所大橋（仮称）建設技術委員会	委　　員	飯村　豊
日向地区都市デザイン会議日向駅舎木材ワーキング委員会	委　　員	飯村　豊
木材産業技術実用化促進緊急対策事業試験調査委員会(スギ合わせ材を用いた軸組構造体の開発)	委　　員	飯村　豊
高千穂バイパス木製防護柵技術委員会（土木研究センター）	委　　員	飯村　豊

１－７　委員等の委嘱状況（つづき）

会　議　等　の　名　称	職　名	氏　名
木材を活かしたふるさとの川づくり事業ワーキンググループ	委　　員	飯村　豊
木造建築工事共通仕様書改訂資料作成委員会(公共建築協会)	委　　員	飯村　豊
日本木材学会 公設機関委員会	委　　員	飯村　豊
九州橋梁・構造工学研究会	委　　員	飯村　豊
日本建築構造技術者協会	委　　員	飯村　豊
日本土木学会鋼構造委員会木橋技術小委員会会員	委　　員	飯村　豊
県産材新流通ビジョン検討委員会	委　　員	飯村　豊
日本木材加工技術協会九州支部企画部会	委　　員	飯村　豊
木質構造研究会	編集委員	飯村　豊

１－８　設 備（主要研究機器）

機　　器　　名	型　　式	メーカー名	設置日	価格(千円)	区 分
ｶﾞｽｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ質量分析計	JMS-AMSUN200	日本電子	H13 4/1	17,325	県 単
フーリエ分光光度計	Spectrum One	ﾊﾟｰｷﾝｴﾙﾏｰ社	10/2	4,725	国 補
可視紫外線分光光度計	U-2010	日立製作所	10/31	1,285	県 単
分光測色計	SQ2000	日本電色	4/1	2,142	〃
蛍光顕微鏡装置	TCS-SP	ﾗｲｶ社	12/10	13,136	〃
低真空走査型電子顕微鏡	S-3000N	日立製作所	4/1	9,240	〃
マイクロスコープ	VH-8000	ｷｰｴﾝｽ社	10/31	7,455	〃
原子吸光分析装置	AA-6650	島津製作所	10/19	6,773	〃
耐候性試験機	SX75-A	ｽｶﾞ試験機	4/1	15,225	〃
超臨界流体抽出装置	SCF-201 他	日本分光	4/1	9,975	〃
蛍光式光ﾌｧｲﾊﾞｰ温度計	FX9020-221	安立計器	4/1	2,331	〃
木工プレス（高周波加熱装置付きﾎｯﾄﾌﾟﾚｽ）	FTYBL4-150-60SP	山本鉄工所	4/1	22,575	〃
ホットプレス	TA-125-W	山本鉄工所	10/31	9,954	〃
グレーディングマシン	MGFE251T	飯田工業	3/22	12,216	〃
ベニヤレース	BV-3SA	田之内鉄工所	3/20	44,909	〃
表面圧密化熱処理装置	TA200-1 WAR	山本鉄工所	3/22	26,880	〃
高周波加熱式減圧乾燥機	HED- 0303型	ヤスジマ	4/1	18,774	〃
木材乾燥機	MHB-5MR	九州ｵﾘﾝﾋﾟｱ工業	1/11	15,488	〃
長期耐力試験装置（ｸﾘｰﾌﾟ試験装置）	TDS-303 他	東京測器研究所	4/1	13,540	〃
切削試験機（ﾅｲﾌﾘﾝｸﾞﾌﾚｰｶｰ）	PZ8	ｳｪｽﾀｰﾝ・ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾊﾟﾙﾏﾝ	4/1	12,600	〃
サーモビデオ	TH3102MR	NEC 三栄	4/1	4,562	〃

（区分）県単：県単独事業
国補：国庫補助事業

１－８　設 備（つづき）

機　　器　　名	型　　式	メーカー名	設置日	価格(千円)	区 分
材料吸音率計測装置	4206	B&K	H13 10/31	5,287	県 単
熱伝導率測定装置	ＨＣ－０７４－200A	英弘精機	4/1	5,791	〃
実大圧縮試験機	A−200−B1	前川試験機製作所	4/1	8,348	〃
実大引張試験機	ＨＺＳ－１００－LB4	前川試験機製作所	4/1	25,725	〃
実大強度試験機	WU−1000. TK21 型	東京衝機製作所	4/1	57,960	〃
断熱防露試験機	TBR−3 TBU−2	ﾀﾞﾊﾞｲｴｽﾍﾟｯｸ	4/1	23,625	〃
水密・気密試験装置	BPX−FM−1	ｽｶﾞ試験機	4/1	26,565	〃
実大構造実験装置	ｱｸﾁｭｴｰﾀｼｽﾃﾑ他	鷺宮製作所	4/1	58,485	〃
水平振動試験装置	VTH−30	南九州向洋電気	3/29	51,975	〃

（区分）県単：県単独事業
国補：国庫補助事業

１－９　　工業所有権等

職員が行った発明・考案で、特許若しくは、著作権法等に基づき出願、登録申請され、審査中であるものならびに既に工業所有権の取得や著作物の登録を完了したものは、平成１４年度末現在、次のとおりである。

１－９－１　出願

（特許権）

	発明の名称	登録番号	発明者
1	製材品の簡易等級区分法	特願　3060053 平成 12.4.28	有馬　孝禮 荒武　志朗 迫田　忠芳

（特許出願中）

	発明の名称	出願番号	発明者
1	曲率半径の小さな湾曲集成材の製造方法及びその製造装置	特願 2002 － 053606 平成 14.2.28	大熊　幹章 藤元　嘉安 飯村　豊
2	木質深底トレイの製造方法	特願 2002 － 170726 平成 14.6.14	藤元　嘉安 稲田　啓次 ｛(㈱合電｝
3	木ダボとその製造方法及び木ダボを用いた接合方法	特願 2002 － 354440 平成 14.12.5	飯村　豊 田中　洋
4	建物の防蟻構造、蟻道誘導構造及びシロアリ食害防止構造	特願 2003 － 068694 平成 15.3.13	藤本　英人 落合　克紀 岩崎　新二